|  |
| --- |
| SOCCSS法（簡略版）　支援者用記録用紙 |

・本記録用紙は、あくまで例であり、本人（対象者）の状況に合わせて、実施の仕方（話し方、セリフ等）を柔軟に変えること。

**■実施上のポイント**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　的 | ・ジョブコーチ支援等、就労支援で時間等物理的制約を伴い、本人から選択肢が出にくい場合や選択肢が絞り込みにくい等に簡略版を使う。 |
| ポイント | ・SOCCSS法と同様に、結果予測と本人の納得を大切にする。  ・本人に合った選択肢を提示するが、特定の選択肢に誘導することはしない。 |
| 留意点 | ・SOCCSS法（簡略版）を使用することで、SOCCSS法における自己決定の重要なプロセスの一部がなくなることに留意すること。 |

**（１）個別相談での確認事項**

|  |  |
| --- | --- |
| 支援者の実施手順（セリフ） | 記　録 |
| それでは、まず困った状況について教えてください。 |  |

**（２）支援者から複数の選択肢の提示**

|  |  |
| --- | --- |
| 支援者の実施手順（セリフ） | 記　録 |
| ・この選択肢で行うのはどうですか？ |  |
| 【選択肢１】 |
| 【選択肢２】 |
| 【選択肢３】 |

**（３）選択肢の検討**

|  |  |
| --- | --- |
| 支援者の実施手順（セリフ） | 記　録 |
| ・この選択肢を行ったらどうなりますか？解決しそうですか？ |  |

**（４）選択肢の決定、シミュレーションの実施①**

|  |  |
| --- | --- |
| 支援者の実施手順（セリフ） | 記　録 |
| ・では、選んだ選択肢について、具体的な段取り（行動のプラン）を立てましょう。 |  |

**（５）選択肢の決定、シミュレーションの実施②**

|  |  |
| --- | --- |
| 支援者の実施手順（セリフ） | 記　録 |
| ・では、実際に実行に移す前に、選んだ選択肢や段取りについてシミュレーションしてみます。 |  |
| ・シミュレーションの方法としては、〇〇をする方法等がありますが、やってみたいことはありますか？ |  |
| では、事前試行してみましょう。 |  |

**（７）実施**

|  |  |
| --- | --- |
| 支援者の実施手順（セリフ） | 記　録 |
| ・（セリフなし） |  |

**（８）実施結果の評価・とりまとめ**

|  |  |
| --- | --- |
| 支援者の実施手順（セリフ） | 記　録 |
| ・実行してみた結果はいかがでしたか？ |  |
| 【上手くいった場合の問いかけ】  ・うまくいきましたね。今後もこの取組を続けてみますか？ |  |
| 【上手くいかなかった場合の問いかけ】  ・上手くいかなかったのは、どうしてですか？ |  |

**３．実施上の留意点**

|  |
| --- |
| その問題に対して、本人が困っていない場合 |
| 次のような方法もある。  （１）本人に対して、問題によって引き起こされる結果(不利益）を見せる。  　（例）①｢（あなたのとった言動に対して）会社はこう思っている」と伝える（会社の協力、同意は必要）。  ②「このままでは、どうなるのか？」、「どんな不利益が起きるのか？」ということを、本人に問いかける。  （２）本人の希望と絡めて相談を進める。例えば、身だしなみに課題があり、それをテーマとして取り上げたい場合、本人に「働きたい」という希望があれば、「どうすれば働けるか？」「働くための準備には何があるか？」といったところから相談を始め、徐々に課題に働きかけていくように進める。 |
| 本人から問題に対する解決策案が出てきにくいことが想定される場合 |
| これまでの本人へのアセスメントの状況から、本人自身から選択肢が出にくいことが想定される場合がある。そのような場合は、本人の状況や周囲の環境を踏まえて、SOCCSS法簡略版のやり方で、支援者から３つ程度の選択肢の案を提示できるように準備しておく。 |